

草津市 産業振興計画

2023-2032

Kusatsu City Industrial Promotion Plan

草津市産業振興計画の概要

および

令和6年度の主な取組について

草津市 環境経済部 商工観光労政課

持続可能な**未来**に向けて
新たな**価値**を生み出す
人が交わり・魅力あふれるまち **草津**

草津市産業振興計画について（概要）

○計画策定の背景・趣旨

我が国におきましては、企業における人材不足や事業承継問題の深刻化、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少といった、業種を問わない共通の課題が生じていることや、新型コロナウイルス感染症により、世界中でビジネスモデルの変更を余儀なくされるなど、暮らしの在り方にも大きな変化が生じています。

また、持続可能な社会を目指したSDGsの推進をはじめ、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現やSociety 5.0の実現が求められており、経済発展と社会課題の解決を両立した社会の実現に向けた取組が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、**本市経済の発展と市民生活の向上を図ることを目的として、「草津市産業振興条例」を制定するとともに、産業全体の中長期的な方向性を示す計画として、「草津市産業振興計画」を令和5年7月に策定**しました。

○ポイント

計画期間：令和5年度～令和14年度（10年間）
→ 社会情勢の変化等を踏まえて5年を目途に見直し

対象業種：産業全般（農業を除く）
→ 6次産業化や農商工連携などの領域は対象分野
→ 業種を問わない共通課題に対応するため、工業・商業・観光など、個別の業種に限定した構成にはしていない

推進体制：10年後に描く「目指すべき姿（＝本計画のビジョン）」の実現に向け、各主体（事業者・産業振興団体・金融機関・教育研究機関・市民）が相互に役割（※）を果たしつつ、連携・協働により取り組む
→ 「草津市産業振興審議会」において、毎年度、進行管理を実施
（※）草津市産業振興条例第5～10条に規定

○計画の全体像

持続可能な**未来**に向けて
新たな**価値**を生み出す
人が交わり・魅力あふれるまち **草津**

持続可能な**未来**を創造するため、草津市が丸となって新たな**価値**を生み出し、市内産業の活性化と雇用の創出を図り、更なる活気に満ちたまちづくりを進めることで、持続可能な「魅力あふれるまち」を創出するとともに、いつまでも活気にあふれ、だれもが“健幸”になれるまちを構築していきます。

目指すべき姿を実現するための3つの戦略

【戦略1】 イノベーションの 創出支援

～新たな価値の創造に向けた積極的な取組を支援する。～

【施策】

- 創業・第二創業の促進
- スタートアップ企業等の集積促進
- 多様な主体との連携の促進

【戦略2】 経営基盤の 強化支援

～経営基盤を強くし、事業者の発展と経営の持続性につなげる。～

【施策】

- 関係機関等との連携によるサポート体制の強化
- 多様な人材の活躍促進
- DXの実現に向けたデジタル化の促進
- 戦略的な企業立地・集積の促進

【戦略3】 活気に満ちたまちの 構築と承継

～社会課題の解決を目指し、地域特性・資源を生かしたまちを創出する。～

【施策】

- ゼロカーボンシティの推進
- 観光地域づくりを通じた地域の魅力向上
- 地域特性を生かした産業の活性化

計画の体系図（「戦略」→「施策」→「主な取組事例」）

【目指すべき姿】

【戦 略】

【施 策】

【主な取組事例】

戦 略
1

イノベーションの 創出支援

～新たな価値の創造に向けた積極的な取組を支援する。～



創業・第二創業の促進

- ① ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化 **【重点取組】**
- ② 産業振興団体等と連携した多面的な創業支援
- ③ 創業支援を通じたプロモーションの強化

スタートアップ企業等の集積促進

- ④ 企業オフィス等の立地適地の創出 **【重点取組】**
- ⑤ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援
- ⑥ 起業家同士の交流機会の創出

多様な主体との連携の促進

- ⑦ 事業者間ビジネスマッチングの創出
- ⑧ 産学官金連携による新たな価値の創出
- ⑨ 社会実験等への協力支援

戦 略
2

経営基盤の 強化支援

～経営基盤を強くし、事業者の発展と経営の持続性につなげる。～



関係機関等との連携によるサポート体制の強化

- ① ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化 **【再掲】【重点取組】**
- ② 販路開拓の支援
- ③ 資金調達の支援
- ④ 事業承継の支援

多様な人材の活躍促進

- ⑤ 多様な働き手の活躍促進
- ⑥ 児童生徒等のキャリア形成の促進
- ⑦ 関係機関と連携した人材確保等の支援

DX の実現に向けたデジタル化の促進

- ⑧ DX 化に向けたマッチング支援
- ⑨ デジタルツールの導入支援
- ⑩ デジタル人材の育成支援

戦略的な企業立地・集積の促進

- ⑪ 企業の立地集積に向けた設備投資等の支援
- ⑫ 企業オフィス等の立地適地の創出 **【再掲】【重点取組】**
- ⑬ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援 **【再掲】**

戦 略
3

活力に満ちた まちの構築と承継

～社会課題の解決を目指し、
地域特性・資源を生かしたまちを創出する。～



ゼロカーボンシティの推進

- ① 国・県等の支援制度の集約と情報発信
- ② 事業者の取組事例の共有と交流機会の創出
- ③ 産学官金連携による新たな価値の創出 **【再掲】**

観光地域づくりを通じた地域の魅力向上

- ④ 地域資源を活用したまちの賑わい創出
- ⑤ 広域連携による観光の推進
- ⑥ デジタルマーケティングを活用した観光の推進

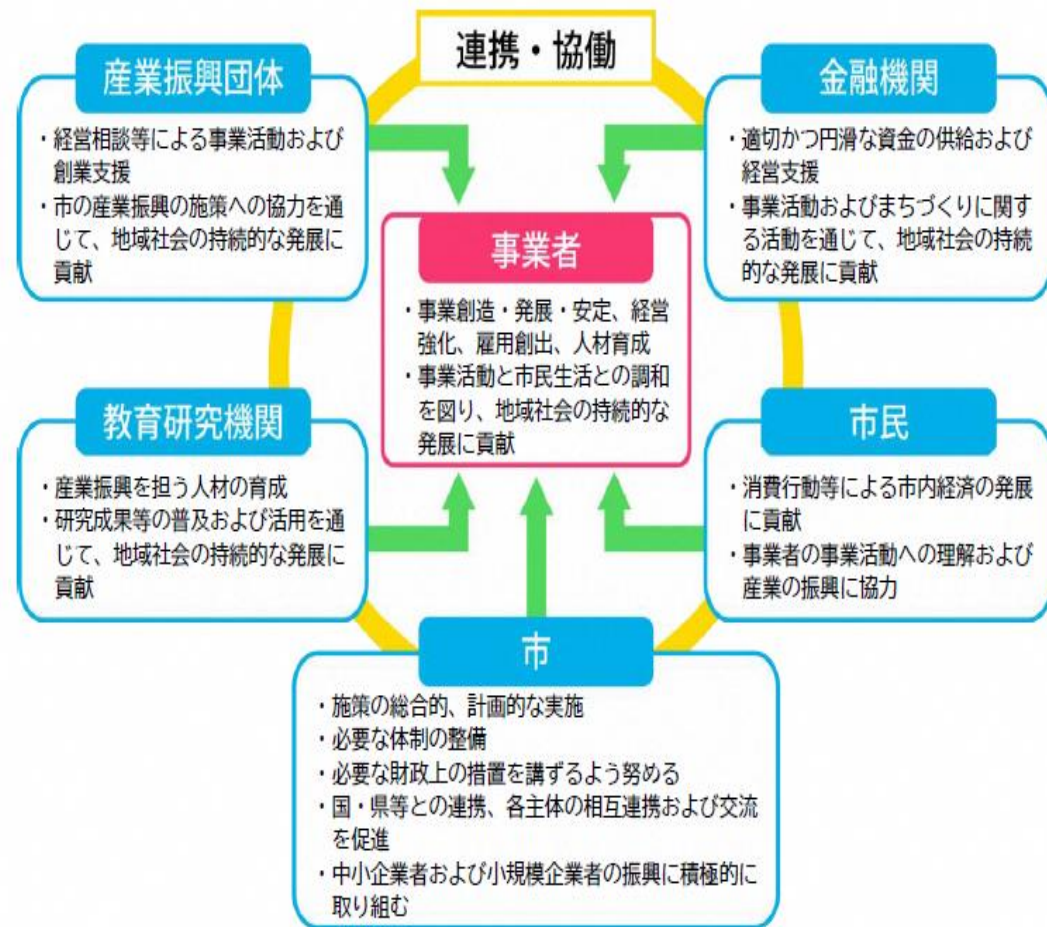
地域特性を生かした産業の活性化

- ⑦ 商工団体の活動支援
- ⑧ 空き店舗を活用した店舗誘致
- ⑨ 企業オフィス等の立地適地の創出 **【再掲】【重点取組】**

持続可能な未来に向けて
人が交わり・魅力あふれるまち
新たな価値を生み出す
草津

草津市産業振興計画の進行管理について

○各主体の役割(条例第5～10条)



○目標指標

■KPI (重要業績評価指標)

指標		基準値	目標値	
			中間 (R9 年度末)	期末 (R14 年度末)
戦略1 イノベーションの創出支援				
KPI ①	市・商工会議所による創業支援者数	53 者 (R3 年度)	325 者 (延べ)	650 者 (延べ)
	内、創業者数	28 者 (R3 年度)	175 者 (延べ)	350 者 (延べ)
KPI ②	市コーディネータ等の活動による企業対応件数	660 件 (H29～R3 年度平均)	3,300 件 (延べ)	6,600 件 (延べ)
	マッチング成立件数	40 件 (H29～R3 年度平均)	225 件 (延べ)	450 件 (延べ)
戦略2 経営基盤の強化支援				
KPI ③	支援制度の活用による企業の施設更新件数および市内立地件数	4 件 (H29～R3 年度平均)	25 件 (延べ)	50 件 (延べ)
KPI ④	中小企業者・小規模企業者の事業計画策定および伴走支援件数	24 件 (R3 年度)	120 件 (延べ)	240 件 (延べ)
	内、売上増加件数(前年比)	8 件 (R3 年度)	60 件 (延べ)	120 件 (延べ)
戦略3 活力に満ちたまちの構築と承継				
KPI ⑤	愛する地球のために約束する協定者数 (「草津市気候非常事態宣言」賛同者数)	54 者 (R3 年度)	85 者	110 者
KPI ⑥	観光入込客数(日帰り・宿泊客)	220.7 万人 (R3 年)	332.0 万人	349.0 万人

■10年後の市内経済等の状況(モニタリング指標)

モニタリング指標	基準値	目指す方向	
		期末時点 (令和14年度末時点)	
市内総生産	7,453 億円 (令和元年度)	▲	増加 (基準比)
法人市民税納税義務者数	3,872 法人 (令和4年度)	▲	増加 (基準比)
市民(所得割の納税義務者数) 平均所得額	3,630 千円 (令和3年度)	▲	増加 (基準比)
二酸化炭素排出量	74.3 万 t-CO ₂ (令和元年度)	▼	減少 (基準比)

<概 要>

創業希望者や事業者が抱えるビジネス上の課題に対する相談・支援体制を構築することにより、特に近年増加する創業相談や支援ニーズに効果的・効率的に対応することを目的として、草津商工会議所と共同で「くさつビズサポ（草津市ビジネスサポートセンター）」をR6.1に開設しました。

くさつビズサポは、草津市産業振興計画の重点取組として、新たな価値創造に向けた積極的な取り組みをサポートするため、創業や第二創業を中心に、創業前から創業後まで切れ目なく、ワンストップで事業者を支援します。



開業・独立のファーストステップ
くさつビズサポ

草津市ビジネスサポートセンター
Kusatsu Business Support Center



公式HP

公式SNS
(インスタグラム)

○事業内容

項目	内容
(1) 創業機運醸成	・ 創業者掘り起こしを目的に、ビジネスカフェや交流会等のイベントを企画・実施
(2) 創業個別相談	・ 創業希望者等を対象とした専門家による個別相談（伴走支援）【特定創業支援等事業】
(3) 経営スキル習得支援	・ 事業経営に必要な知識、スキルの習得を目的とした創業セミナー等の企画・実施【特定創業支援等事業】
(4) マッチング支援	・ くさつビズサポのコーディネータによる企業間、支援機関、大学等とのマッチング支援
(5) 情報発信	・ 公式HP、SNS等を通じた情報発信（支援制度、成功事例・創業者の情報発信等）

○主なスケジュール（予定含む）

5月15日（水）	くさつビズサポカフェvol.1
8月頃	くさつビズサポカフェvol.2（計画中）
9月28日（土）	創業マルシェ・パネル展示イベント（草津市制施行70周年記念事業として実施）
11～12月頃	創業セミナー
2月頃	くさつビズサポカフェvol.3（計画中）

（参考）5/15 ビズサポカフェの様子



【戦略1－施策1－②】産業振興団体等との連携による多面的な創業支援 (大学生を対象とした創業機運醸成イベント)

<概 要>

草津市・大津市（南草津・瀬田エリア）は、立命館大学・龍谷大学などの教育研究施設が集積し、**多くの学生が生活する活力に満ちたまち**ですが、**卒業後は就職等の理由による市外転出が続いており、若者の定着がまちの課題**となっています。そのため、両市では、立命館大学・龍谷大学と連携・協働し、『**創業（起業）**』をテーマにした**創業機運醸成イベント**を開催しました。

地域に根差した創業者が増え、新たなビジネスやサービスが創出されることにより、多様化する地域ニーズや課題の解決につながる可能性を秘めています。大学が立地する地の利を活かして、大学生や若者による産業振興（創業）を促進するとともに、学生ならではの視点・アイデアを十分に生かすことができる魅力的なまちづくりを推進します。

センパイ起業家のみなさん



R RITSUMEIKAN 経済学部4回生
株式会社ウエロフ 代表取締役
古高 雅也センパイ
個人・法人の資産運用相談事業など



R RYUKOKU 政策学部卒業生
株式会社 RE-SOCIAL 代表取締役
笠井 大輝センパイ
ジビエとペットフードブランドの運営・飲食店の運営



R RITSUMEIKAN 産業社会学部3回生
一般社団法人 Focus on 代表理事
森本 陽加里センパイ
発達障害児支援アプリの開発・運用事業など



R RYUKOKU 文学部卒業生
Players 株式会社 代表取締役
深海 綾太センパイ
VR・映像制作事業



(センパイ起業家 自己紹介)



(交流会)

項目	概要
日時	令和6年4月24日（水）17～19時
主催	大津市・草津市・立命館大学・龍谷大学
場所	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（草津市野路一丁目）
対象者	大学生
プログラム	①：センパイ起業家の座談会 ⇒立命館大学・龍谷大学所縁の起業家4名による自己紹介・座談会 ②：センパイとみんなで交流会 ⇒参加者同士のワークショップ（+センパイによるフォロー）
参加人数	17人 （立命大：5人、龍谷大：8人、滋賀県立大：2人、滋賀医科大：1人、成安造形大：1人）
アンケート結果 (n=17)	「イベントが楽しかった」 ⇒ 16人 「起業意欲が沸いた」 ⇒ 17人 「今後、ビジネスプランの立て方などのセミナーへの参加希望」 ⇒ 17人 ※ 身近な起業家の体験談等を聴くことができたことに対して高評価

＜概 要＞

国の企業立地を進める方針に加えて、近隣市において大規模な企業進出（予定含む）が相次いでおり、居住地としての魅力を備える本市においても、**職住近接の観点や雇用・税収の確保など、将来を見据えたまちづくり**を進める必要があります。

そのため、**新たな産業用地創出に向けた可能性を調査し、地域未来投資促進法等を活用した民間主導の開発と産業用地創出に向けた取組**を実施します。

※ 本市の有する産業振興上の主な課題

- ・ 県内外から企業の立地ニーズが数多くある中、特に大規模な産業用地が不足しており、企業ニーズに応えられていない（**誘致困難**）
- ・ 立命館大学BKＣインキュベータ入居企業をはじめとするスタートアップ企業等の成長後の立地先（ポストインキュベーション施設）が不足している（**市外流出**）

○業務内容（令和6年度6月補正予算）

① 産業用地可能性調査

- ▶ 土地利用の基礎条件や候補地条件の抽出など

② 企業アンケート調査（5,000件程度を想定）

- ▶ 調査対象選定
- ▶ 調査票の作成、発送、回収、集計、分析

③ 企業ヒアリング調査

- ▶ アンケート結果を踏まえて実施
- ▶ 進出意向を有する企業、デベロッパー、不動産会社等を対象

④ 産業用地創出の可能性評価

- ▶ ①～③を踏まえた可能性評価、民間開発の可能性・諸条件整理

⑤ 産業用地創出方針（案）の作成

- ▶ 企業誘致の方針、ターゲット、プロモーション策等の整理
- ▶ 産業用地創出に向けた手法、課題の整理 など



凡 例	
(土地利用重点検討区域)	
	高度利用区域
	市街化予備区域
	産業振興区域
	湖辺にぎわい創出区域
	市街化区域
	鉄道
	国道
	高速道路
	幹線道路

(参考) 草津市都市計画マスタープラン

【将来都市構造図(土地利用重点検討区域)】

○業務工期

令和6年8月～令和7年7月

【戦略3－施策2－⑥】 デジタルマーケティングを活用した観光の推進 (くさつグルメマップの運用)

<概要>

本市で行われている大規模イベント（草津宿場まつり、イナズマフードGP、イナズマロックフェス…）で来訪される方に草津市の飲食店や観光スポット、宿泊施設を訪れてもらい、地域への経済波及効果を生む必要があります。

経済波及効果を生む仕組みとして、「くさつグルメマップ」をデジタルマップとして構築し、市内の飲食店、観光スポット、宿泊施設を掲載することで、市内周遊を誘引し、観光の推進を図ります。

■ 令和6年度計画

8月	マップ掲載
9月	★イナズマロックフェス
10月	
11月	★ナイトタイムエコノミー
12月	
1月	
2月	
3月	★桜・藤



デジタルマップイメージ

SPOT: レストランくさつ

写真

ex) 店外写真
店内写真
お料理 など

2～4枚程度

レストランくさつ

2020年3月に東海道筋沿いにオープン。
草津で採れた食材を中心に、イタリアンを提供しています。

人気メニューは、草津のアスパラを使って、本格的な窯で焼き上げる「くさつまるごとピッツァ」です。

その他にもたくさんのメニューがあるので、何度訪れても楽しめるお店です！

公式HPは[こちら](#)より
公式Instagramは[こちら](#)より

住所：草津市〇〇町〇〇番地
電話番号：077-〇〇〇-〇〇〇〇
営業時間：10:00～20:00
定休日：火曜日

実施主体

- （一社）草津市観光物産協会
- 草津市商工観光労政課